

○森澤 晴香 氏（平成 12 年（当時 8 歳）、父を交通事故で失う）

[要旨]

父親の事故、交通遺児育英会との出会い

平成 12 年 12 月 24 日、クリスマスイブに父親が事故で亡くなりました。母親と当時 5 歳と 3 歳の妹たち、そして私は 8 歳でした。冬休みに入った直後だったため、小学校での直接的な影響はなかったのですが、家族で唯一の男性だった父親がいなくなり、女 4 人だけの生活が、しかも寒い冬から始まったという部分で、かなり心身ともに疲れ果てていたと思います。

父親が中高一貫校の教員だったこともあり、私も岡山の私立の中高一貫校に通いました。中学 3 年のとき、学校で交通遺児育英会のポスターを見かけたのがきっかけで応募し、高校 3 年間は奨学金がもらえることになりました。

交通遺児育英会では、高校 2 年生のときに、交通遺児だけ 30 人でイギリスに短期留学もしました。私にとって、その 3 週間というのは、初めて他の交通遺児と接した期間でした。私はあまり人に父親が亡くなったことを言っていなかったのですが、それをポジティブに受け止め話をしてくれる交通遺児がこんなにたくさんいるということに、共感、感銘を受けました。そのとき、東京に『心塾』という交通遺児のための寮があることを教えてもらい、大学進学にあわせて申し込みをしました。

経済面だけでなく精神面でも支えてくれた『心塾』

『心塾』は東京都日野市にあり、大学生や専門学校生等、幅広いジャンルの学生男女が 60、70 名生活しています。一人につき 1 部屋与えられ、プライベートもしっかり守られています。キッチン等は共同なので、誰かの誕生日には夜集まってお祝いもします。学年問わず仲よく暮らしているのが心塾です。また、単に楽しいだけの寮ではなく、地域の資源回収にも参加しています。資源回収で得た資金で、焼きそばやお餅を無料で市民の方に提供する会等も開いています。大学 3 年生がこの会の幹事をしますので、その経験を就活で生かすことができるのも魅力の一つです。

私は、大学 4 年間のうち 1 年間だけ都内で一人暮らしをしたのですが、頑張って探しても家賃が月数万、さらに光熱費と交通費も必要です。心塾では、朝晩の食事と光熱費込み月 1、2 万円で住むことができます。これがどれだけ経済的な支援になるか……。奨学金制度は、一般の大学生には手厚くなっている面もあるかもしれませんが、専門学校生等にはまだまだ広まっていないと思います。高校を出たら大学進学ではなく就職しなくてはならない交通遺児もいると思いますが、交通遺児育英会では、専門学校生等にも手厚く奨学金制度を提供しています。もし、進路に悩んでいる学生さんがおられましたら、勧めてほしいと思います。

心塾にいる子供たちは、母親か父親を亡くした、もしくは障害が残っている交通遺児ばかりです。ここでは、事故で親を亡くしたことを話し合う会等はありません。なぜかという、団らんやコミュ

ニケーションを通して、「自分の父親はね・・・」と必然的にその会話となり気持ちを分かり合える、そういうコミュニケーションの場としてあるからです。交通遺児だけが住む寮というのは、自分の心を開放するいい機会であったと思います。中学・高校に通っていた頃は、父親がいないことを周囲の人たちは知っていたので、気を遣って「父の日」というワードは絶対に口にしませんでした。心塾では、「父の日」「母の日」という言葉は普通に口にします。「命日」というワードも禁句ではありませんでした。なので、かえって自分が“素”でいることができました。

交通遺児として望む支援とは

交通遺児は、奨学金が借りやすいと思います。特に、無利子で借りやすいというところは、すごく充実した制度だと思います。ただ、借りやすいがゆえに、一般の学生よりも、将来のビジョンを見据えずに借りるだけ借りてしまうという学生が多いように思います。そうではなく、どのようなビジョンを描いて、社会人になったらどのように返済していくか、ある程度のイメージを持つことが大切だと思います。先生や周りの人たちには、一緒に考え、支えていただきたいと思います。貸与が無利子なだけでも十分ありがたいのですが、その上で、給付の奨学金もしくは授業料の返額分を大学4年間の学業成績に応じて半額にするというような、さらに手厚い支援を金銭面でお願いできれば、それはそれで精神面の安心にもつながっていくと思います。

交通遺児だからというわけではないのですが、母親一人、子一人という環境だと、どうしても母親依存、子依存という面が20歳を越えても強く残っているのではないかと思います。子供は独立しようと頑張っているのですが、お母さん、お父さんが立ち上がれていないということもあると思うので、交通遺児だけではなく、親側の支援として、親が独立してプライベートな時間と空間を持てるように同時に支援していただきたいと思います。